

利用請求書【別紙2】の書き方(自己の管理者牛群情報を請求)

「別紙2(第4条(2)関係)」をご使用ください。

別紙2 (第4条(2)関係)

独立行政法人家畜改良センター牛個体識別全国データベース利用請求書

年 月 日

独立行政法人家畜改良センター理事長 殿

利用者(牛の管理者)
氏名又は名称

管理者等
コード番号

「独立行政法人家畜改良センター牛個体識別全国データベース利用規程」第4条(2)の規定に基づき、下記について請求します。

記

1 利用目的

2 利用する情報の範囲

3 利用者(牛の管理者)の連絡先

- ・電話番号:
- ・Eメールアドレス:

4 情報提供の方法

・提供方法: eMAFF 電子メール 郵送

・提供形態: データファイル 画像ファイル 印刷物

5 その他

注) 取得した情報を、第三者へ提出する場合は、提出先を記入してください。

(日本工業規格A4)

ご利用の目的をご記入ください。

<記入例>

- ①飼養状況の確認のため
- ②納税申告の資料作成のため
- ③〇〇事業参加条件の確認のため

対象牛の性別、種別、異動の種類、抽出期間等、必要な情報の範囲を、できるだけ詳しくご記入ください。

対象牛の一覧や提供内容を記載した資料を添付していただいても構いません。

特に提供項目の指定がない場合は、弊センターで用意した内容で提供します。

<記入例>

- ①平成〇年〇月〇日時点の繋養牛一覧
- ②平成〇年〇月〇日～〇年〇月〇日の間に飼養した牛の異動履歴一覧
- ③飼養雌牛の分娩履歴一覧

現在、牛個体識別台帳に登録されている氏名又は名称と管理者等コード番号をご記入ください。

牛個体識別台帳と一致しない場合は、情報提供ができません。

記入内容についてのお問い合わせや提供データの送付先として必要な場合がありますので、連絡先を明記してください。

ご希望の提供方法及び提供形態に、チェックしてください。

提供データのファイル形式(Excel又はCSV)、パスワードの指定、提供時期など、ご希望や留意事項がございましたらご記入ください。

取得した情報を、所属する農業協同組合、税務署、裁判所など第三者に提出する場合は、提出先をご記入ください。